



「第37回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）」 一般の部 入賞者決まる！

第37回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）・一般の部審査会を、去る8月22日（金）に実施し、応募作品数69点から、グランプリ（文部科学大臣賞）以下11点の入賞者を決定しましたのでお知らせします。

また、9月6日（土）から9月21日（日）までの間、全ての出展作品を丹波年輪の里木の館ホールにおいて展示するとともに、前回一般の部グランプリ作者（安森優氏）による個展を同会場にて同時開催いたします。

表彰式は、10月26日（日）13時30分から行います。

なお、グランプリ以下入賞作品の審査講評は、9月4日（木）にご用意できます。また、写真撮影については、9月5日（金）から可能ですので取材をお願いします。入賞結果はホームページにも掲載する予定です。https://nenrin.org/w_craft/

記

1 応募状況 出展作品数 69点（前回：80点）
出展者数 67名（前回：73名）
(北海道から沖縄まで22都道府県からの応募があった。前回：22都道府県)
WEBでも申込み（WEB申込み数22件）

2 入賞者 別紙（参考）
・今回のテーマ別部門のテーマは「ゆったり」で、69点中12点がテーマ作品であった。
・「親子で遊べる木のおもちゃ作品部門」は、69点中18点であった。
・学生からの出展35点の中から「学生賞（丹波市製材協会賞）」が選ばれた。
若い世代の活躍に期待が寄せられている。
(参考) 学生出展数35名、35点（前回35名、38点）

3 審査員 審査委員長 渋谷 寿（名古屋葵大学教授）
審査員 尾崎 織女（日本玩具博物館学芸員）
中井 秀樹（プロダクトデザイナー）（50音順）

4 展示期間 令和7年9月6日（土）～9月21日（日）
9:00～17:00 最終日は15:00まで
休館日は月曜（月曜祝日の場合は翌平日）

なお、展示期間中、来場者による作品（入賞作品以外）の人気投票を行います。

選ばれた作品の出展者と、投票者の中から1名に丹波の特産品（スイツ）を贈呈。

5 表彰式 令和7年10月26日(日)13時30分～
(於)丹波年輪の里 木の館・研修室

6 主 催 丹波の森ウッドクラフト展実行委員会

7 共 催 兵庫県、丹波市、(公財)兵庫丹波の森協会

8 後 援 丹波篠山市、兵庫県教育委員会、丹波市教育委員会、丹波篠山市教育会、(公財)兵庫県芸術文化協会、朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞豊岡支局、産経新聞社、神戸新聞社、丹波新聞社、NHK神戸放送局、三木工業協同組合、(公財)森林文化協会、丹波市観光協会、丹波市製材協会（順不同）

別紙

第37回丹波の森ウッドクラフト展（一般の部） 入賞者・入賞作品名（敬称略）

グランプリ（文部科学大臣賞）

入賞者：竹澤 雄理（長崎県長崎市）

作品名：回して学ぶ多機構一手のひらの“ゆったりメカ” —

準グランプリ（兵庫県知事賞）

入賞者：三浦 海音（東京都 中央工学校）

作品名：鳥の巣

優秀賞（丹波市長賞）

入賞者：荒井 一汎（金沢科学技術大学校）

作品名：知恵の盤

優秀賞（丹波市議会議長賞）

入賞者：津田 敏幸（兵庫県加古川市）

作品名：親亀の背中に…!!

優秀賞（丹波市教育長賞）

入賞者：宮本 重信（兵庫県神戸市）

作品名：小さな万国博覧会

新人賞（（公財）兵庫丹波の森協会理事長賞）

入賞者：加藤 菊文（神奈川県秦野市）

作品名：宇宙から、こんにちは！

特別賞（三木工業協同組合理事長賞）

入賞者：井川 健（佐賀県佐賀市）

作品名：HANAWA

佳 作（丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞）

入賞者：久保 進（神奈川県伊勢原市）

作品名：立てばピラミッド、座ればラクダ

佳 作（丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞）

入賞者：高橋 慧、高橋 敏之（岡山県岡山市）

作品名：12の約数を主題にした 54mm基尺のサペリ製 数学・音楽積み木

佳 作（丹波の森ウッドクラフト展実行委員長賞）

入賞者：大森 恵（兵庫県丹波市）

作品名：ぴころん

学生賞（丹波市製材協会賞）

入賞者：前園 結香、山下翔太、山下葉月、濱田悠人、美吉田朝哉（佐賀大学）

作品名：によろによろフィッシング

出展作品数 69点

出展者数 67名

グランプリ（文部科学大臣賞）

入賞者：竹澤 雄理（長崎県長崎市）

作品名：回して学ぶ多機構—手のひらの“ゆったりメカ”—



(作者コメント)

クランク、ゼネバ、遊星ギアなど、さまざまな機構をモチーフにした回転玩具です。
試作を重ねて軸や木の厚みを工夫し、長く回して遊べる強度を持たせました。
回すたびに異なる動きが指先に伝わり、ハンドスピナーのように“ゆったり”と癒やされながら、仕組みの面白さを直感的に学べます。
大人は機構の美しさに、子供は動きの楽しさに夢中になる、誰でも楽しめる木のおもちゃです。

発表者名 (担当者名)	連絡先電話番号
丹波年輪の里 館長 村上 佳邦 企画担当 足立 文代	0795-73-0725